

平成28年度

日本丸メモリアルパーク

指定管理者 年間事業計画書

帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体

目 次

1 指定期間の目標	2
2 指定期間の目標達成に向けての当該年度の目標	2
3 前項を達成すべき取組概要	2
4 管理執行体制	
(1) 職員配置体制表	3
(2) 責任体制	4
(3) 防犯・防災対策	4
(4) 事故・災害発生時対応	4
(5) 緊急連絡体制表	5
5 指定管理業務計画書	
(1) 年間事業計画表	6
ア 運營業務に関する計画表	6
イ 管理業務に関する計画表	7
ウ 提案事業に関する計画表	7
エ 外部委託予定表	8
オ 要望対応方針・事務フロー	8
カ 研修計画表	8
6 指定管理業務に係る当該年度の収支計画表	
(1) 収入	9
(2) 支出	9
7 年間の指定管理業務の範囲外の収支計画表	
(1) 収入	10
(2) 支出	10

1 指定期間の目標

- (1) 帆船日本丸及び横浜みなと博物館有料入場者数・・・8.7万人
- (2) 日本丸メモリアルパーク利用者数・・・150万人
- (3) 小・中・高等学校の来校数・・・650校
- (4) お客様満足度・・・97%以上

2 指定期間の目標達成に向けての当該年度の目標

- (1) 帆船日本丸及び横浜みなと博物館有料入場者数・・・8万人
- (2) 日本丸メモリアルパーク利用者数・・・134万人
- (3) 小・中・高等学校の来校数・・・595校
- (4) お客様満足度・・・97%以上

3 前項を達成すべき取組概要

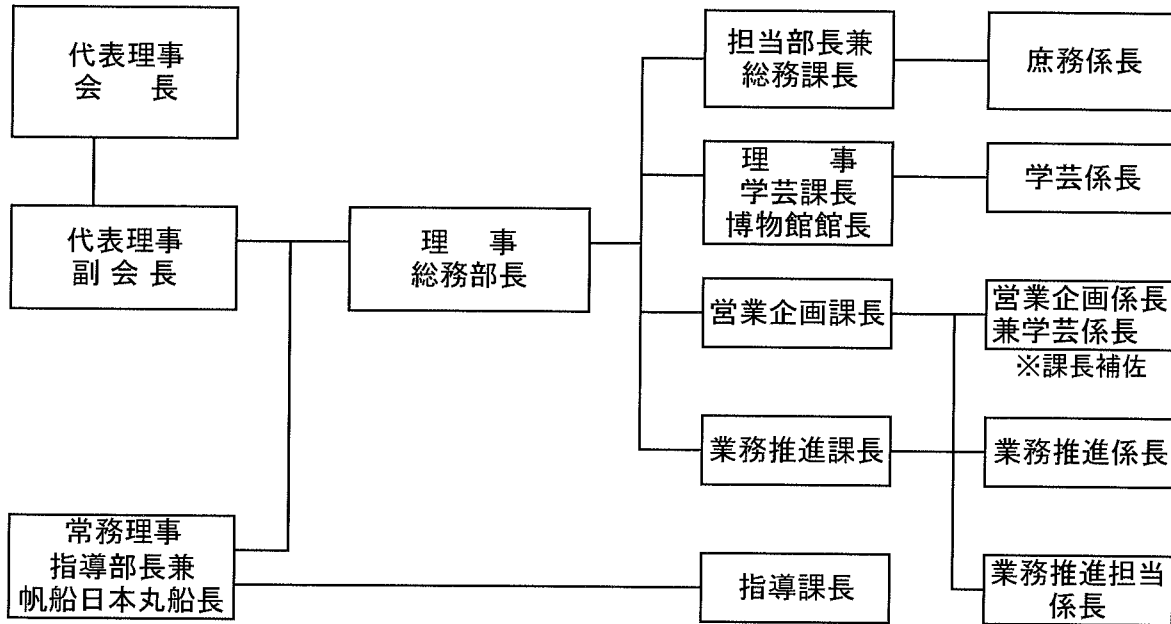
- (1) 帆船日本丸及び横浜みなと博物館有料入場者数・・・8万人
 - ア 利用実績やイベント実施、繁忙日等を考慮しながら、柔軟な料金体系を設定します。お客様のニーズに応え、帆船日本丸・横浜みなと博物館のどちらか1つの施設を見学できる単館券を発行し、高校生料金を子供料金帯に変更し、東京都や神奈川県を中心とした高校生の来館者を増やしていきます。(入館料金の柔軟な対応)
 - イ 小・中・高校生料金が従来無料であった毎週土曜日について、100円の特別料金を設定します。この料金収入は、こどもたちの社会貢献活動の一つとして周知し、帆船日本丸進水100周年に向けた保存活動に使用します。
 - ウ インバウンド(訪日外国人客)集客増に向けた取組として、平成27年度に導入した「多言語ガイドシステム」や「Facebook」を活用し情報発信力を高め、集客に繋げていきます。
また、総帆展帆予定表やシーカヤック等のイベントチラシの英語版作成、外国人キャンペーンの継続実施、春節や国慶節などアジアからの訪日外国人客の多い時期にあわせた取り組みなど、訪日外国人向け施策を拡充してまいります。
 - エ みなと博物館ならではの企画展の実施、既存の事業の一層の充実を図り、博物館の魅力発信と新しいファンの獲得を目指します。また、市民ボランティアとともに、展示や教育普及、アウトリーチ活動を通して、多くの人々が海や港、船に親しみ、興味をもつことができるように、体験的な教育プログラムを用意します。そして、こどもから大人、ファミリーまでが楽しめる博物館づくりに努め、リピーターと新しい入館者の増加を図ります。
 - (ア) 市民の展示案内ボランティアによる展示の案内・説明を毎日実施し、入館者の満足度向上とリピーターの確保に努めます。さらに館長による「館長トーク」や学芸員が直接展示解説をする「学芸員のワンポイント展示解説」を実施して、展示内容の理解をより深めていただき、展示の魅力アップに努めます。また、調査研究による成果を展示して新しい情報を発信します。
 - (イ) 特別展示として、昨年逝去された故柳原良平氏の作品による企画展を夏から秋にかけて開催します。2月には海難とその救助に焦点を当てた企画展を実施します。
- (2) 日本丸メモリアルパーク利用者数・・・134万人
 - ア 連携イベントによる賑わいの創出として、
 - (ア) みなとみらい21さくらフェスタ2016との連携(4月)
 - (イ) ジャズフェスティバル at NIPPON-MARUの開催(ゴールデンウィーク予定)
 - (ウ) 横浜開港祭2016との連携(5月・6月)
 - (エ) 音祭り at YOKOHAMAから派生する「ヨコハマ スティールパン フェスタ2016」の開催(8月予定)
 - (オ) ピカチュウイベントの継続誘致(8月予定)
 - イ 水辺の事業として、
 - (ア) シーカヤック体験教室(既存教室に加えリピーター向け中級コース実施)
 - (イ) カヌーポロ大会の実施(日本丸杯カヌーポロ大会)及び子供向けカヌーポロ教室の開催
 - (ウ) 横浜開港祭マリニイベントとしての子ども教室、市内4大学(横浜市立大学ほか)教室の実施
 - ウ パーク利用事業として、フリーマーケット、吹奏楽演奏会など定期的なイベントを開催、横浜市のプロモーション事業と連携して音楽イベントや子供向けダンスイベント、キャラクターイベントなどを積極的に開催
- (3) 小・中・高等学校の来校数・・・595校
 - ア 神奈川県、東京都、埼玉県の小学校への財団職員による継続訪問、県外小・中・高等学校修学旅行の誘致
- (4) お客様満足度・・・97%以上
 - ア PDCAサイクルを生かし、お客様満足度97%以上の確保など
以上、料金体系の見直しや他の観光資源との連携取組により目標の達成を目指します。

4 管理執行体制

(1) 職員配置体制表

指定管理者の業務となる「日本丸メモリアルパーク施設」(以下「施設」という。)の管理運営については、次の職員配置体制で業務を執行します。

ア 組織図



イ 職員配置

業務内容	所 管		分担業務	所属員	備 考
総務管理業務	総務課	庶務係	庶務、経理、人事・労務、契約、給与、理事会等、市調整、売店	4名	アルバイト3名配置 売店運営
横浜みなと博物館管理運営業務	学芸課	学芸係	常設展示事業、特別展示事業、教育普及事業、調査・研究・収集・保存・出版活動事業、ライブラリー(資料閲覧室)事業	3名	アルバイト7名配置 ライブラリー、操船シミュレーター運営等
営業業務	営業企画課	営業企画係	広報宣伝集客誘致の企画実施 月次集客会議、入場料徴収、学校(市外)・旅行業者営業、地域連携・イベント等	8名	アルバイト1名配置 旅行業者営業・学校営業、市場調査、イベント企画、広報等
施設管理業務	業務推進課	業務推進係	学校関係(市内)・Webによる誘客、情報システム維持管理、緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営		アルバイト12名配置 受付業務、券売所シーカヤック教室訓練センター貸出管理業務全般
帆船日本丸管理運営業務	指導課		保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業	10名	
計				25名	

(役員5名は含まず・兼務は学芸課で数値計上)

(2) 責任体制

指定管理業務については、次の責任体制で効率的な業務執行を図ります。

箇所名	業務責任者	指定管理業務
総務課	総務課長	庶務、経理(契約入札含む)、人事、給与、売店等運営、
学芸課	学芸課長	横浜みなと博物館事業 常設展示事業 特別展示事業 教育普及事業 調査・研究・収集・出版活動事業 ライブラリー(資料閲覧室)事業
営業企画課	営業企画課長	広報宣伝集客誘致の企画実施、月次集客会議、入場料徴収、 学校(市外)・旅行業者営業、地域連携・イベント等
業務推進課	業務推進課長	学校関係(市内)・Webによる誘客、情報システム維持管理、 緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営等
指導課	指導課長	帆船日本丸事業 保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業

(3) 防犯・防災対策

施設利用者の安全及び財産保全を第一に、昼夜防犯・防災及び事故防止に努めます。

防犯・防災・事故防止等の対策として、職員による巡視・点検に加え昼夜委託警備体制での施設の巡回や定位置警備を行うことなど利用者の安全を確保します。施設内では火気・施錠等の管理徹底を図り、退所時は「防火等管理簿」の各項目の確認処理を行うなど、確実な取り組みを進めます。

以上、日本丸メモリアルパークの良好な管理運営に向けた職員配置を行うなど積極的に取り組んでいきます。

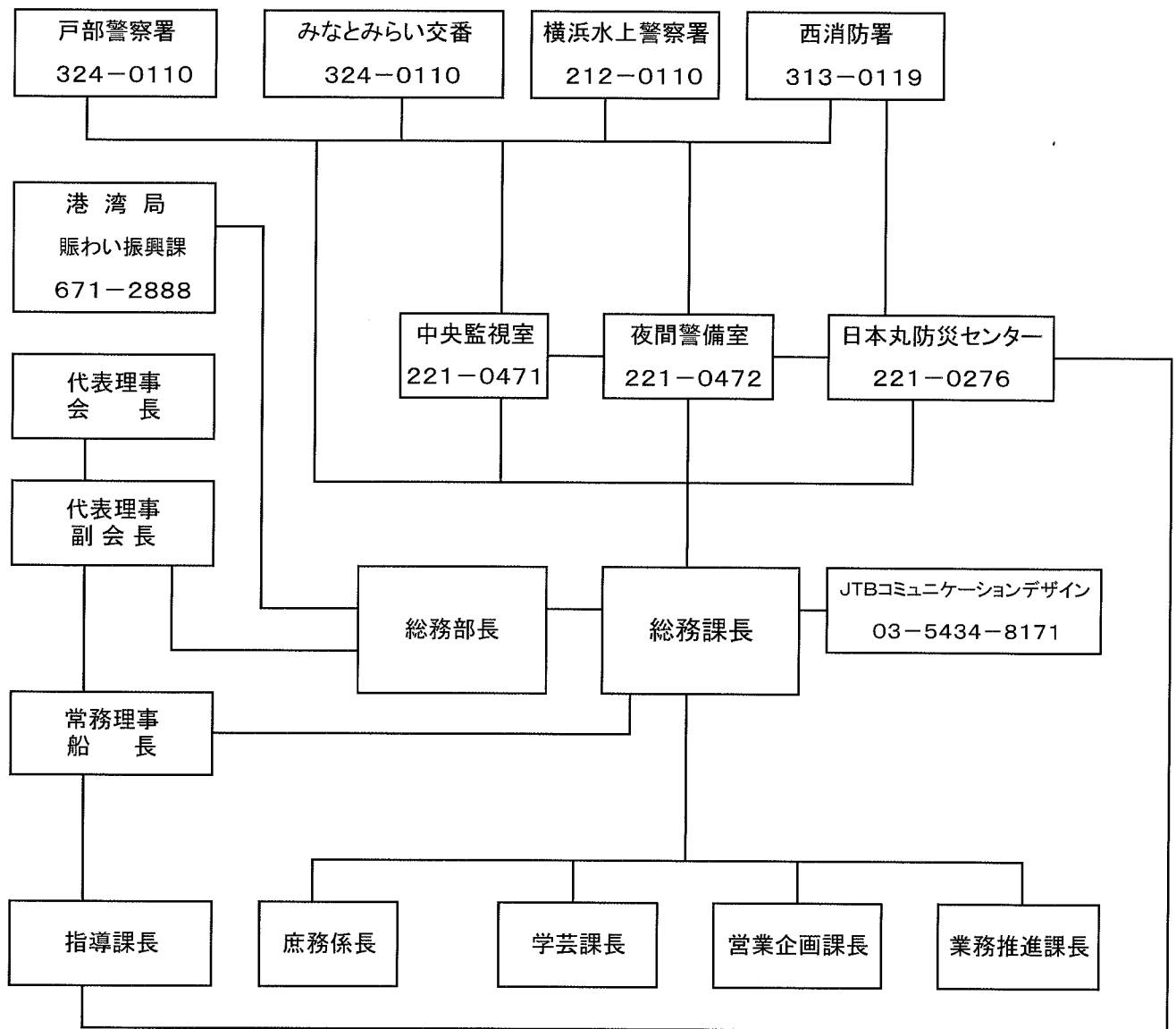
(4) 事故・災害発生時対応

緊急時には人命の安全確保及び災害による被害が最小限となるよう管理運営に当たります。

ア 地震、津波、火災等緊急時には、直ちに対策本部を設置し、隊長に副会長、副隊長に日本丸船長・総務部長を充て、その指示・命令のもとに行動します。具体的には、法に基づく「消防計画」及び当財団の「地震対策マニュアル」に基づき行動します。

イ 夜間・休館日に災害が発生した場合は、警備員(2名体制)が初期対応を行うとともに総務課長へ連絡を行います。副会長の命により迅速に体制を立ち上げ対応します。

(5) 緊急連絡体制表



※総務課長不在のときには総務部長が、総務部長も不在のときには庶務係長が確実に連絡することとします。

5 指定管理業務計画

(1) 年間事業計画表

管理運営に関する基本協定書に基づき、確実に業務を執行するとともに、役職者業務調整会議を定例的に開催し、その内容(決定事項等の詳細)を職員に徹底し、また、市民に広報活動を通じて情報を公開し、年間目標を達成するため、着実に業務を遂行します。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 帆船日本丸事業												
保存事業												
公開事業												
公開(月曜日等休館)											検査工事	
総帆展帆(計12回)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
満船飾(計15回)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
青少年錬成事業(海洋教室の実施)											検査工事	
教育普及事業											検査工事	
2 横浜みなと博物館事業												
常設展示事業												
特別展示事業												
教育普及事業												
調査・研究・収集・出版活動事業												
ライブラリー(資料閲覧室)事業												
3 日本丸メモリアルパーク事業												
日本丸メモリアルパーク(緑地等)の維持管理・活用												
訓練センター(研修施設)の管理運営												
4 その他												
集客・プロモーション事業												
自主事業												

ア 運營業務に関する計画表

各施設の公開時間

施設名	開館時間	休館日	摘要
緑地	24時間(終日)		
帆船日本丸	午前10時から午後5時まで	月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月29日～12月31日 1月28日～2月23日	帆船日本丸は検査工事のため、休館日に変更あり
横浜みなと博物館	午前10時から午後5時まで	月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月29日～12月31日 1月28日～2月1日	横浜みなと博物館は、燻蒸のため、休館日
訓練センター(研修施設)	午前9時から午後10時まで	12月29日～12月31日	

イ 管理業務に関する計画表

種 別	箇 所・業 務 名	内 容	回 数 等
有資格者の配置	帆船日本丸	船長及び一等航海士	通年
	横浜みなと博物館	学芸員、司書、電気主任技術者 サービス介助士	
安全管理	日本丸メモリアルパーク(緑地)	警備員による通常警備(監視業務・巡回警備等)、特別警備(左記のうち必要な箇所)、交通誘導(日本丸メモリアルパークの緑地)	通年又は随時
	帆船日本丸		
	横浜みなと博物館		
	訓練センター(研修施設)	・防災訓練の実施	年2回(9月・1月)
	タワー棟		
屋外トイレ	・職員による巡回点検	随時	
設備維持管理	中央監視設備	横浜市が認定した有資格業者に管理委託 日常巡視点検 定期点検整備 法定点検整備	◎電気・機械設備等 保守点検月1回 及び年1回実施 ◎消防・特別高圧 変電設備等法定検査 年1回実施
	電気設備		
	空気調和設備		
	給排水衛生設備		
	昇降機設備		
	消防関係設備		
帆船日本丸 船体検査・整備	横浜市からの要請による関係官公庁等と連絡対応、検査・整備の実施	年1回(約1ヶ月)	
小破修繕	建築物等、帆船日本丸、緑地 電気機械設備等	指定管理施設等の修繕が困難な場合は横浜市と協議	
設備関係の測定 及び記録	運転・作業日誌、日常巡視点検記録、定期点検・測定記録、業務連絡簿は3年間保存 事故障害記録、補修・改良工事記録は5年間保存 設備機器・工具計測台帳、設備図書は永年保存		
清掃	日本丸メモリアルパーク全体		
植栽管理	日本丸メモリアルパーク(緑地)		

ウ 提案事業に関する計画表(主な事業)

事 業 名	内 容	実施回数等
横浜都心部のみどりアップ計画	市施策のみどりアップ計画による桜などの植樹等に協力し、「緑や花による魅力・賑わいの創出」のための維持管理を実施。	通年
水陸両用バス事業との連携	水陸両用バス事業と連携を図る連携チケットやセット券の販売等の実施に向け、事業者と協議を推進	随時
柳原良平氏特別企画展	故柳原良平氏作品の企画展示会を開催	8月～11月
カヌーポロ教室	水域の利活用による賑わいづくりを目指し、NPO法人や市カヌー協会と連携し子どもを対象としたカヌーポロ教室を開催	随時
シーカヤック教室	中級者向けの新たなコースの開設	通年

エ 外部委託予定表

原則として次の業務を指名競争入札により委託します。

種 別	名 称	発注時期
電気機械設備	電灯・動力、受電、自家発電、直流電源、通信・情報、外灯、防犯、配電、消防設備	平成28年3月及び随時 (複数年契約3年)
昇降機設備	給排水衛生、空調、昇降機、監視制御装置、防災、自動ドア	平成28年3月及び随時 (複数年契約3年)
清掃業務	日本丸メモリアルパーク(緑地・屋外トイレ)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター(研修施設)、タワー棟	平成28年3月及び随時 (複数年契約3年)
警備業務	日本丸メモリアルパーク(緑地)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター(研修施設)、タワー棟、屋外トイレ	平成28年3月及び随時 (複数年契約3年)

オ 要望対応方針・事務フロー

施設利用者の要望収集は、窓口等の直接的な要望とアンケート調査等の要望の2つに分けられます。

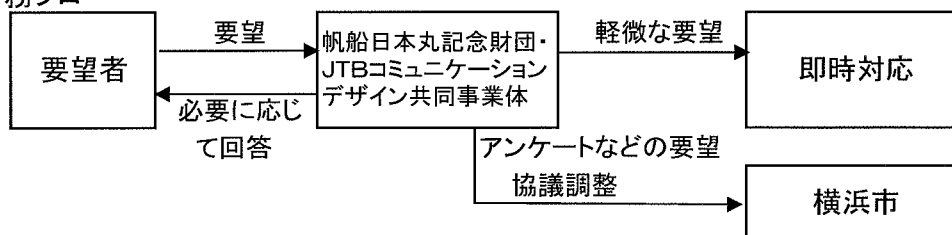
(ア) 窓口やメール等の直接的な要望

担当者が即時対応し、完了後、所属課長より総務課長及び役員に報告します。

(イ) アンケート調査等の要望

- ・毎日の施設利用者としての「利用者アンケート」の意見や要望内容を集約し、毎日の朝礼で確認し、通常業務へ反映させ、具体的に実施します。
- ・日本丸及びみなと博物館の全体的なアンケート調査を年1回実施し、管理者調整会議や職員ミーティングなどで内容を分析し、必要な事項は今後の業務へ反映し、具体化します。
また、必要に応じて横浜市の関係機関と協議を行います。

事務フロー



カ 研修計画表

研修項目	研修内容	実施回数・時期	備 考
新任研修	マナー、法令順守等	年1回 ・ 4月	
定時研修	コンプライアンス、個人情報保護、人権、マナー、緊急時対応等	年各1回 ・ 2月まで	
レベルアップ研修	中堅職員研修、学芸員研修など、職員の外部研修への参加支援等	通年	
OJT研修	それぞれの業務において実施	通年	

6 指定管理業務に係る当該年度の収支計画表

(1) 収入

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
指定管理料	302,759	
利用料金収入	50,391	観覧料収入、海洋教室等収入、その他事業収入
自主事業収入	28,520	提案事業収入
売店事業収入	15,000	
その他の収入	48,608	助成・協賛金収入、寄付金収入、 基本財産運用収入、特定資産取崩収入
収入合計	445,278	

(2) 支出

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
指定管理施設 運営事業費支出	364,906	帆船日本丸事業費支出、横浜みなと博物館事業費支出、 緑地事業費支出
指定管理者 管理費支出	50,107	指定管理者施設管理費支出
自主事業費支出	15,311	提案事業費支出
売店事業支出	14,954	
支出合計	445,278	

当期収支差額	0	
--------	---	--

7 年間の指定管理業務の範囲外の収支計画表

(1) 収入

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
特定資産運用収入	3,650	
雑収入	360	
特定資産取崩収入	26,981	
収入合計	30,991	

(2) 支出

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
財団管理費支出	6,437	
支出合計	6,437	
当期収支差額	24,554	